株式会社コンセック

第56期
CONSEC REPORT
令和4年4月1日～令和5年3月31日

証券コード：9895

TOP INTERVIEW トップインタビュー

新時代を見据え、新技術・新工法でインフラ整備、環境問題に取り組んでまいります。

株主の皆さまには、平素よりコンセックならびにコンセックグループ各社に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

取締役社長　福田 多喜二

Q 第56期の経営環境・業績について、概要をお聞かせください。

A 新型コロナウイルスによる行動制限が少しずつ緩和され、経済活動の正常化に向けた動向もありましたが、急速な円安の進行、エネルギーコストの上昇による生産コストの高止まりや部材の入手難など多くの下振れ要因があり、企業を取り巻く環境は大変厳しい状況が続きました。

当社グループが主として属する土木建設業界におきましては、高速道路、ダム関連、橋梁関連のインフラ整備等、また、大型のプロジェクトが低調に推移しました。また、一方で原材料の高騰や供給制限も続いており、民間の建築、設備投資等に遅延、先送りが見られました。

このような環境のなか、当社グループは各事業分野の強みを活かし、お客さまに「最適」の提案を継続し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

この結果、売上高は96億96百万円（前期比3.8%減）となりました。営業利益は51百万円（前期比84.2%減）、経常利益は1億円（前期比72.9%減）となりました。特別利益として投資有価証券売却益など17百万円（前期は投資有価証券売却益など9百万円）、また、特別損失として減損損失など22百万円（前期は減損損失1億31百万円、投資有価証券評価損21百万円など1億56百万円）を計上したため、親会社株主に帰属する当期純損失は、2百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益60百万円）となりました。

Q 今後の見通しと取り組みについてお聞かせください。

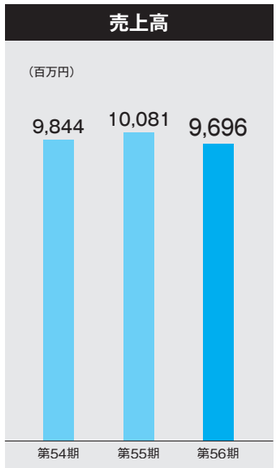
A 今後の見通しにつきましては、海外経済やロシア・ウクライナ情勢は不透明感が強く、原材料価格の高騰や人手不足などの長期化は懸念材料であるものの、アフターコロナに向けた動きは一段と加速し、人出の増加に伴う消費活動の活発化は、今後の企業活動のプラス要因となるものと期待されます。

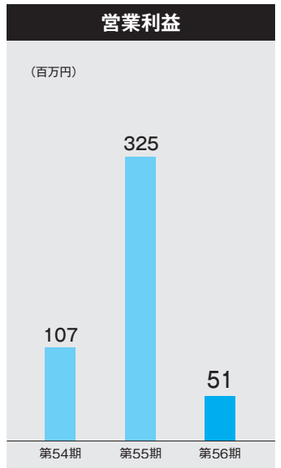
このような環境のなか、当社グループは安定的な収益体制の確立が最優先の課題であると考えており、引き続き「中期経営計画（第56期～第58期）」に基づき、①利益体質の確立　②社員の成長　③独自開発による社会貢献　④事業規模の拡大を基本方針として、取り組んでまいります。

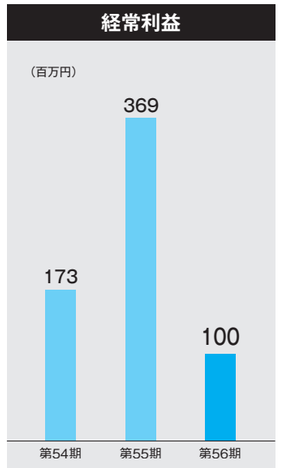
株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

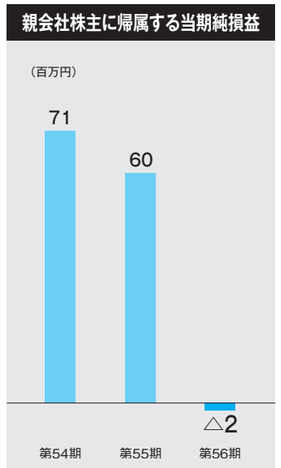
CONSOLIDATED FINANCIAL HIGHLIGHTS 連結財務ハイライト

詳細は当社ウェブサイトに掲載されている「投資家の皆様へ」をご覧ください。
http://www.consec.co.jp/toushi/









事業区分別売上高等は以下のとおりです。

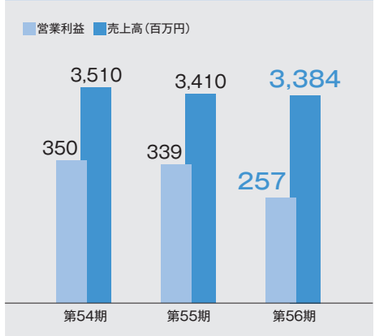
事業区分	売上高	営業利益	対前期売上高増減率
切削機具事業	3,384 百万円	257 百万円	△0.8 % ↘
特殊工事事業	1,809	145	△17.4 ↘
建設・生活関連品事業	3,228	100	△0.9 ↘
工場設備関連事業	707	△7	15.4 ↗
介護事業	357	△29	△6.7 ↘
IT関連事業	211	△34	△8.3 ↘
合　計	9,696	433	△3.8 ↘

（注）1.上記金額は外部顧客に対する売上高であり、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。
2.上記営業利益の金額は、全社費用等を差し引いておりません。
3.金額及び比率は、表示単位未満を四捨五入しております。

SEGMENT REVIEW 事業区分別の概況

切削機具事業

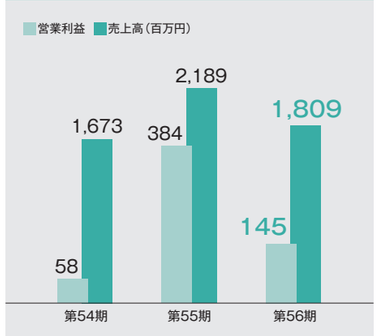
コアドリル、ウォールカッター、ワイヤーソー、ダイヤモンドコアビット、ダイヤモンドワイヤー、自動送り装置、油圧ユニット、消散弁等の製造販売



新規開発製品の市場への投入が、一部部品の入荷遅延等により延期され、売上高は前期並みとなりました。原材料の高騰もあり原価が高止まりし、営業利益は前期を下回りました。

特殊工事事業

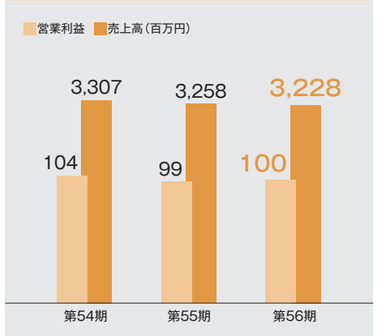
アンカー工事、ダイヤモンド穿孔・切断工事、ワイヤーソー工事、橋梁補修工事、土木建築耐震工事等の特殊工事



高速道路、橋梁、ダム等のインフラのメンテナンスの受注が低調に推移し、売上高、営業利益は共に前期を下回りました。

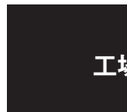
建設・生活関連品事業

建設機械・工具全般、建設資材全般、住宅・OA機器、生活関連機器等の販売及び不動産の賃貸

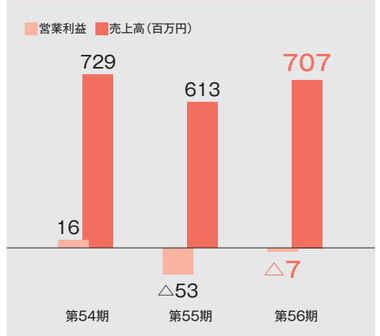


建設設備関連の顧客からの受注が前期並みに推移したことにより、売上高は前期並みとなりました。原価低減にも努め、営業利益は前期と比べ微増となりました。

工場設備関連事業



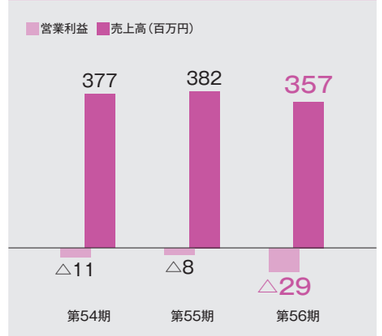
自動制御盤、配電盤、製缶、精密板金加工等の製造販売



前期から続く電機関連部品の入荷遅延はあるものの、主要顧客からの受注が回復傾向にあることと新規顧客からの受注獲得により、売上高は前期を上回りました。営業損失は前期より改善いたしました。

介護事業

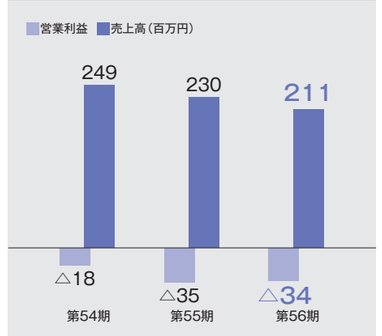
デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者向け賃貸住宅等の運営・サービス



各施設の利用者の減少により、売上高は前期を下回り、原価の高騰及び販売費及び一般管理費等の高止まりにより、営業損失を計上いたしました。

IT関連事業

ソフトウエアの受託開発、パッケージソフトの開発販売

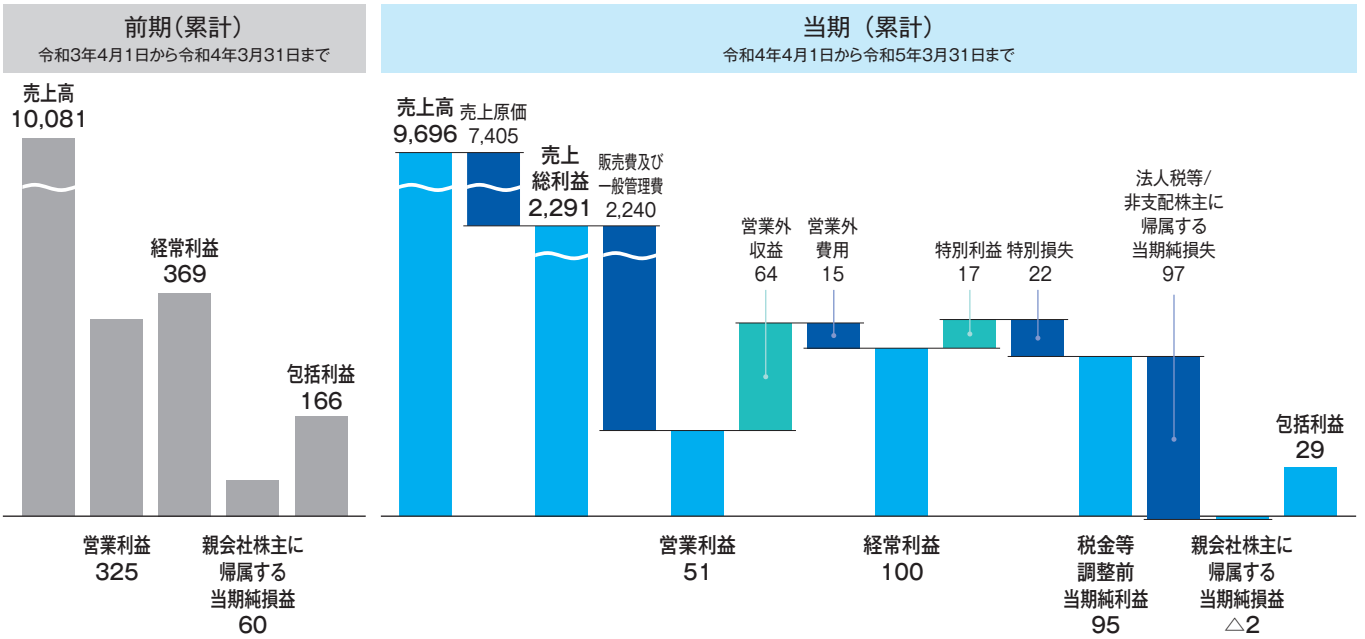


主要顧客からの受託業務の停止が今年度も続き受注が低調に推移したため、売上高は前期を下回りました。販売費及び一般管理費の低減に努めたものの、営業損失を計上いたしました。

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS POINT 連結財務諸表のポイント

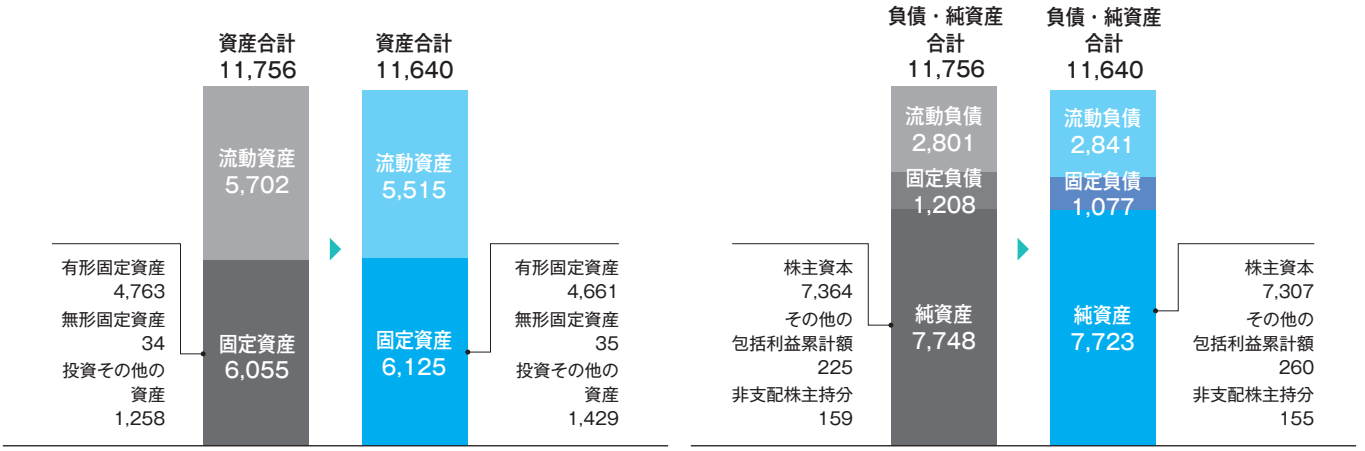
連結損益計算書及び連結包括利益計算書の概要

（百万円）



連結貸借対照表の概要

（百万円）



ウェブサイトのご案内

当社のウェブサイトでは、株主・投資家の皆さまに対して、企業情報や財務情報について、積極的に情報開示を行っております。当社をよりご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてください。

http://www.consec.co.jp/

TOPICS

サーボモータワイヤーソー DSME-200A

2023年6月よりコンクリート構造物切断用である主力製品のワイヤーソーに、水冷式電動モータを搭載したDSME-200Aを発売いたしました。高トルク高出力な電動サーボモータの搭載で、よりスピーディーな切断が可能となりました。また電気式トルクコンバータを搭載し、ダイヤモンドワイヤーの引張力を安定的に保ち、かつ切断トラブル時のダイヤモンドワイヤーの破断を軽減する等、作業時の安全面も強化しています。

無線式のリモートコントローラにより、最大20mの遠隔操作が可能になり、操作性向上にも努めています。

株主優待制度について

当社は、3月末及び9月末時点で、当社株式を100株以上ご所有の株主さまに健康飲料水『ラ・バモントライト』と『ふりかけ詰合せ』をセットにして、年2回、6月と12月に贈呈いたします。

株主優待の配布基準となる所有株式数は次のとおりです。

配布基準 ご所有株式数	優待内容
100株～399株	健康飲料水『ラ・バモントライト』1本と『ふりかけ詰合せ』
400株～999株	健康飲料水『ラ・バモントライト』2本と『ふりかけ詰合せ』
1,000株以上	健康飲料水『ラ・バモントライト』3本と『ふりかけ詰合せ』

CORPORATE PROFILE 会社情報

会社の概要 （令和５年３月31日現在）

社名 株式会社コンセック
（CONSEC CORPORATION）

本社所在地 広島市西区商工センター
四丁目6番8号
TEL（082）277−5451（代表）

設立 昭和42年11月6日

資本金 40億90百万円

従業員数 連結：426名（51名）
単独：216名（19名）
※（　）内は契約社員数

ウェブサイト http://www.consec.co.jp/

連結子会社

祥建企業股份有限公司（台湾・新北市）
南通康賽克工程工具有限公司（中国・江蘇省南通市）
南通康賽克半導体工具有限公司（中国・江蘇省南通市）
北斗電気工業株式会社（広島県呉市）
株式会社木戸ボルト（広島県呉市）
株式会社サンライフ（広島市西区）
株式会社デンサン（広島市南区）
山陰建設サービス株式会社（鳥取県米子市）
建設サービス島根株式会社（島根県松江市）

主な事業内容

【切削機具事業】
穿孔・切断機器、ダイヤモンド切削消耗品等の製造及び販売

【特殊工事事業】
アンカー工事、コアーボーリング・カッター工事、ワイヤーソー工事等

【建設・生活関連品事業】
建設機械・工具、住宅・OA機器、生活関連機器等の販売

【工場設備関連事業】
自動制御盤、配電盤等の製造及び販売

【介護事業】
デイサービス、ケアプランサービス、介護付有料老人ホーム、高齢者向け賃貸住宅、障がい者デイサービス

【IT関連事業】
ソフトウエア受託開発

役員 （令和５年６月27日現在）

代表取締役会長	佐々木　秀　隆
取締役社長	福　田　多喜二
専務取締役	三　中　達　雄
取締役	岡　本　浩　一
取締役	野　田　　隆
取締役（社外）	藤　原　光　広
常勤監査役	竹　本　敏　範
監査役（社外）	長　井　紳一郎
監査役（社外）	小　松　節　子

ネットワーク （令和５年３月31日現在）

支店 東京、大阪

営業所 札幌、仙台、横浜、名古屋、岡山、広島、高松、福岡、他19ヶ所

事業所 貿易グループ

工場 広島工場

物流センター 広島配送センター

STOCK INFORMATION 株式情報

株式の状況 （令和５年３月31日現在）

発行可能株式総数 2,860,000株

発行済株式の総数 1,864,011株

株主数 2,637名

大株主（上位10名）

株主名	持株数	持株比率
日本鉱泉株式会社	207,400株	11.6%
佐々木　秀　隆	202,000	11.3
株式会社ライフステージやまと	104,800	5.8
公益財団法人秀里会	71,600	4.0
コンセック従業員持株会	53,659	3.0
コンセック役員持株会	53,300	3.0
株式会社もみじ銀行	46,420	2.6
秋元利規	40,000	2.2
損害保険ジャパン株式会社	34,300	1.9
朝日生命保険相互会社	31,400	1.8

（注）1.当社は、自己株式を70,812株保有しておりますが、上記株主数及び大株主からは除外しております。
2.持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社　大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.consec.co.jp/ （ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。）

（ご注意）

1.株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。

3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

CONSEC 株式会社コンセック
広島市西区商工センター四丁目6番8号　TEL（082）277−5451（代表）